



AQ Group

NEWS RELEASE

2025/1/8

AQ Group Co.,Ltd.

**【年頭所感】日本初 純木造 8 階建てビルの建築技術から誕生した
「AQ ダイナミック構法」と「木のみ構法」。
「フォレストビルダーズ」が連携して地球環境貢献、脱炭素に挑む**

株式会社 AQ Group 代表取締役社長 宮沢俊哉の年頭所感を発表いたします。

長きにわたる技術開発が花開き、注目を集めた 2024 年

昨年の能登半島地震、大雨災害に被災された皆さま並びに、ご家族の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

日本における 2024 年のスタートは非常に困難なものでした。物価の上昇、円安など不安定な経済環境が続いた中、住宅業界においても建築資材の高騰や人材不足などの影響もあり、郊外エリアでの分譲需要の冷え込みやハウスメーカーの苦戦が散見されました。

一方、AQ Group の 2024 年は、長年チャレンジしてきたプロジェクトが具現化した年となりました。2022 年 9 月に着工した日本初^{*1}、純木造 8 階建て本社ビルが 2024 年 3 月に竣工。5 月には創業の地である、埼玉県さいたま市に本社を移転し、グループとして新たなスタートを切りました。構造体に鉄やコンクリートを一切使用せず、一般流通材で建てられた純木造のビルは、国内の建設業界・メディアだけでなく海外でも反響を呼び、弊社が掲げる「木造建築の復興」の大きな一歩となりました。

6 月には他のハウスメーカーでは類を見ない木造建築技術研究所がオープン。意匠権出願中の AQ トラス架構にて 16m スパンの無柱大空間を実現し、「日本初」の木造専用 500kN 複合試験機で戸建住宅から中大規模木造まであらゆる構造試験が可能な「構造実験棟」が本格稼働しています。また 12 月には建築現場における効率化などを研究、実証実験する施設である「施工効率化センター」も稼働しました。

純木造 8 階建て本社ビルと構造実験棟においては、第三者機関から様々な表彰をいただくことができ、弊社において 2024 年は 20 年以上前から掲げていた「木造建築の復興」に向けた投資や挑戦が具現化し、高い評価をいただくことができた一年となりました。

2024 年 表彰

月	対象物	タイトル	主催
5	純木造8階建て本社ビル	石膏ボード賞「建築賞」	一般社団法人 石膏ボード工業会
10	木造建築技術研究所「構造実験棟」	2024年度グッドデザイン賞	公益財団法人日本デザイン振興会
11	純木造8階建て本社ビル	木材利用推進コンクール「国土交通大臣賞」	木材利用推進中央協議会
11	純木造8階建て本社ビル	ウッドデザイン賞2024	一般社団法人日本ウッドデザイン協会

住宅事業においては主力ブランドである「AQURA HOME」、高級邸宅ブランドの「AQ レジデンス」に加え、高コスパ住宅の「AQ HAUS」がスタートし、より多くのお客様に弊社の家づくりをご提供できるようになりました。これらの住宅ブランドで使われる「AQ ダイナミック構法」は、ビル建築の技術から生まれたもので不要な壁や柱を取り除いた広く自由な空間と建物の強さを両立させた弊社オリジナルの先進技術であり、「未来構法」と呼べるものです。

一方、4 階建て以上の中大規模木造建築には安価かつ短工期を可能にした「木のみ構法」を開発し、7 月には弊社初となる木造マンションシリーズ「AQ フォレスト」の記念すべき一棟目を着工、マンション業界に新風を吹き込むムーブメントになることを期待しています。

2024 年度（2025 年 2 月期）の AQ Group の業績は、過去最高の売上高を更新する見通しです。これは多くのお客様に弊社を選んでいただいた結果であり、この場を借りて心より御礼申し上げます。

AQ Group 第二創業期へ。木造建築新時代の幕開け

2025年の住宅業界は、4月に建築基準法の改正が予定され、4号特例が縮小されます。構造計算等の負担が増加し、対応できない工務店も少なくないでしょう。また、国の2025年度補助金施策である「GX志向型住宅」がトレンドとなり、環境負荷を最小限に抑えつつ、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの利用を重視した住宅の分野で競争が生まれることが予想されます。ハウスメーカーや工務店にとってはこれまで以上に技術力が問われる年になると考えています。

弊社はこれまでも飛躍のための挑戦を数多く行ってきましたが、創業47年を迎える本年を「第二創業期」と位置付け、より一層挑戦を加速していきます。「技術のAQ Group」を象徴する2つのオリジナル構法、「AQダイナミック構法」と「木のみ構法」が誕生したことで、全国の工務店、中小ゼネコンなどづくり手たちと手を携えて、「木造建築と、未来へ」の鍵を握る「フォレストビルダーズ^{※2}」の動きも加速し、持続的な地球環境、脱炭素社会へ向けたCO2削減に貢献していきます。

そういう意味では、木造軸組構法を継承した森の国ジパングの木造技術を世界に発信していく可能性が見えてきたといえるのではないのでしょうか。

いつの日か「AQダイナミック構法」や「木のみ構法」が世界においてもスタンダードな構法になることを信じています。「木造建築と、未来へ」、節目となる創業50年に向けて、さらなる進化を続けてまいります。

FOREST BUILDERS



株式会社AQ Group 代表取締役社長 宮沢俊哉

※1 日本初（当社調べ）：①純木造8階建の耐震工法（免振装置を使わない）②構造体を木のあらわしで使用している面積割合③工期最短：6,000㎡超えの純木造で17ヵ月④価格最小：これまでの木造ビル建設費の1/2の費用（坪145万円）

※2 フォレストビルダーズ：2024年5月からスタート。AQ Groupのほか、地域の工務店や中小ゼネコンなどで組織された建築集団。「コンクリートジャングルを森に変えていく」をスローガンとし、日本一かつオンリーワンを目指す

<本件について報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

株式会社AQ Group 広報課 青木 佐藤

TEL : 048-620-4536

Email : aqura_pr@aqura.co.jp

AQ Group Website : <https://www.aqura.co.jp/>



AQ Group